

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 12 No 11

136号

平成16年11月1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

奇跡の救出-新潟中越地震-

院長

今年は、台風や集中豪雨、そして今回の新潟県中越地震など、自然の猛威を改めて感じさせられました。被災者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈りいたします。

さて、新潟県の中越地震は10月23日の17:56分におこり、仙台でも震度2~3で揺れを感じました。震源地は10kmと浅く、マグニチュードは6.8で、震源地近くでは震度6強(後で分かったことですが川口町では震度7を記録)の大きな揺れを示していたようです。報道が伝えてくるたびに、次第に被害状況が明らかになってきました。直後にも震度6の余震が続き、余計に被害が広がりました。

多くの方が亡くなり、10月末には37人を数えています。地震の直接的な原因以外に、ストレスやエコノミークラス症候群が原因にもなりました。被災後は余震による倒壊を心配し、避難所や車の中での生活を余儀なくされています。我々には想像ができないことなのですが、避難所での生活も大きなストレスの原因となっているようです。広い場所に多くの人たちが収容され、プライバシーが無いばかりか、他人への気遣いや不十分な食料(それでも随分改善はされてきているようですが)、被災した家屋への不安、将来の心配など、数え上げればきりが無いストレスにさらされているでしょう。また自由に身体を動かせない車中での生活、寒さ、雨も大きな問題です。

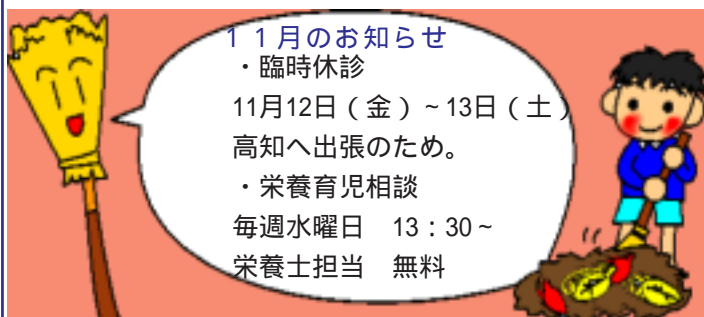
そんな暗い話題が多い中、優太ちゃん救出は被災者の方々にも勇気を与える出来事のひとつだったでしょう。お母さんとお姉ちゃんとともに車で走行中、23日の本震の時に土砂崩れに遭遇したようです。父親との連絡も取れず、一時行方不明となっていました。ところが26日の夕刻に土砂崩れ現場で、車が発見されました。翌日から救助活動が始まり、27日の午後に無事に救出されたのです。救出はまさに奇跡と言っているもので、車と土砂の間にすき間があったこと、季節も脱水を起こすような高温でなかったこと、

真冬でなかったこと、そして空から車が偶然発見されたことなど、様々な条件が運良く重なり92時間後の無事な姿での救出となりました。救出の様子が何度もテレビで放映されましたが、とても感動的なものでした。多くのメディアで奇跡として扱われましたが、その陰にはレスキュー隊の自分の身すら省みない素晴らしい活躍がありました。土砂にうずまった車からの救出は、さぞ困難だったと思います。車内に入り込んだ多くの土砂や鋼材など、除去による崩落の危険から手作業で進めていったとも聞いています。余震による土砂崩れへの恐怖の中、使命感に満ちた隊員達の姿は久しぶりに本物のプロ意識と言うものを感じさせてくれました。優太ちゃん車から抱き上げられた時生きているとの観測から、大きな歓声が上がったことでしょう。その優太ちゃんが裸で救出され、隊員の一人が無意識に自分の着ていたコート(?)を着せてあげた思いやりのある姿をみて、また感動したのは自分だけではなかったと思います。お母さんとお姉ちゃんは残念ながら亡くなりましたが、一人だけでも助かったことには大きな意味があります。優太ちゃんには大きな怪我も無く、少しずつ回復している様子です。きっとお母さんとお姉ちゃんが、優太ちゃんを守っていてくれたのでしょう。3人の生存を信じて、救出を続けてきた隊員達には、無念さがあつたかもしれません。隊長のコメントの「お母さんやお姉ちゃんのみで優太君に生きて欲しい」には、その無念さににじみ出ていました。しかし、一人の命を救った活動には、大きな拍手送りたいと思います。

このような状況から、また命の重さを学ばされました。身内や子どもを思う親の気持ちの強さ、それとは逆な不安や心配の大きさ。これらは、我々の医療にも通じるものだと思います。我々も被災者の方々のために、何かできることがあるかどうか、考えてみましょう。未だに多くの方々が、様々な死活に関わるような問題を抱えています。この記事の内容は、ほんの一部だけのことです。記事を書いていて阪神大震災(平成7年2月号)のことも思い出されました。わずかな手助けになればと思い、受付に義援金の箱を用意しました。是非、募金に御協力ください。

新潟県中越地震災害義援金の案内

- ・日本赤十字社新潟県支部
郵便振替 口座 00530-2-2000
- 通信欄に新潟県中越地震と書けば手数料は無料です
- ・テレビ朝日ドラえもん募金
0990-53-5000(1回で100円の募金ができます)
ドラえもんの声もきけますよ



11月のお知らせ
・臨時休診
11月12日(金)~13日(土)
高知へ出張のため。
・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~
栄養士担当 無料

麻疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻疹のワクチンを』

読者の広場

今日は、19通のメールを頂きました。いつものように紹介させていただきま
す。まずは、泉区の千葉さんからのものです。「昨日肘の関節が抜けてお世話
になった、大泣き、ちばみずきの母です。(いつも泣いてばかりですみません・・・)。川村先生に
みていただくようになってずいぶん経ちますが、初めてメールを送ります。昨日は保育所から「腕の
様子がおかしい」と職場に連絡があり、様子では「抜けたかな」という感じでした。でも、今までそ
のようなことがなかったので、とっさにどの病院に連れて行ってよいのか判断つかず、まずは・・・
と思い、かわむらこどもクリニックに電話をしてみました。そこで看護婦さんの「大丈夫！連れておいで！」の心強い
一言にすっかり安心する事ができました。なにせ、初めてのことだったので、かわむらさんで断られたらどうし
よう・・・とドキドキだったのです。つくづく、先生のオールマイティーな診察に患者としては、いつもに増して心強く感
じました。そして、もう一つすごいなぁと感じたことが。診察を終えて看護婦さんから「保育所の先生、気にしている
と思うから今回のはたまたまだった、と伝えたい方がいいよ」とアドバイスをいただきました。そうなんです、保育所の先
生は4月に保育士さんになったばかりの若い先生で、きっとみずきの手の事でかなり不安だったと思うのです。こちら
も看護婦さんにアドバイスをいただいた事で、きちんと保育所の先生に「大丈夫だ」ということを伝えられたと思うの
です。看護婦さんの適切なアドバイスありがとうございました。改めてかわむらこどもクリニックの質の高さを感じた昨日
でした。筆不精の母なので、言いたい事がうまく伝わるかどうか不安ですが、本当にありがとうございました、という気
持ちでメールを送らせていただきました。早く泣き虫が卒業するといいいのですが、近々インフルエンザの予防接種を受け
にまた泣きに行きます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。」。お誉めの言葉、ありがとうございます。小児科
は子どもの病気の窓口です。大丈夫かなと思っても、一度問い合わせるか連れてきて下さい。当院で対応できないもの
は、責任を持って他の科を紹介しますので、御安心を。次は古川市へ転居した板橋さんから。「こんにちは。今鼻風
邪ひいて地元の病院に行ってます。初めて行く病院だったのです。けど他の病院に行っても思いました、こっちが最近の病
状を話そうとするとそれはいいから今日の状態を言ってくださいとこちらの話を聞いてくれません。診察もどうかだか説
明がなく薬出しときますしかいいません。忙しいからだったのかもしれませんが親としては納得行きませんでした。かわ
むら先生に仙台に居るときみて頂いた時どんなに安心だったか・・・改めて考えさせられました。また仙台に戻った時はお
世話になります。愚痴聞いていただきありがとうございました。」。愚痴でも何でもかまいませんよ。愚痴って、言っ
ても問題は解決しませんが気が楽になりますよね。どうぞという訳にはいきませんが、仙台に来た時はどうぞ。



掲示でもお知らせしましたが、「かわむらこどもクリニックNEWS」が、日本HIS研究会主催の第4回ヘルスケア情報誌
コンクール(BHI賞)で、特別賞を頂くことになりました。これもひとえに、当院を支えてくれて院内報を愛読してい
る(?)お父さんやお母さんのおかげです。特別賞の表彰式が高知市で行われ、参加の予定です。また院内報から始ま
った当院の様々な取り組みを、病院広報企画賞を目指して発表してきます。止むなく休診となり、皆様には御迷惑をお掛け
しますが、よろしく御理解とご協力を重ねてお願い致します。このような発表ができることも、当院の患者さんの大きな
支えによるものと思っています。ありがとうございます。



インフルエンザの予防接種の予
約受け付けています。現在接種中
です。13歳以上は原則1回です。また
13歳未満では、1~4週間の間隔で2
回接種します。接種年齢は生後6ヶ月からとなります。

接種料金(1回) 3150円(消費税込)

臨時休診のお知らせ

ヘルスケア情報誌コンクール特別賞受賞と病院広報
事例発表会のため、高知へ行くことになりました。

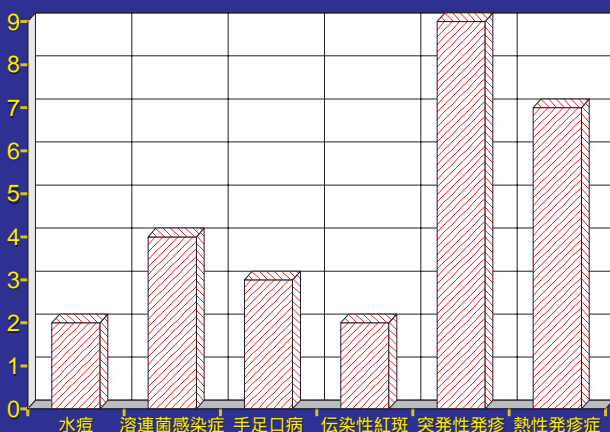
11月12日(金)~13日(土)、休診となります。

11月11日(木)は、午後も診療致します。

インフルエンザワクチンの多い時期で、皆様には御迷惑
をお掛けします。受賞の様子は次号にでも紹介させていた
だきます。何とぞ御理解の上、ご協力をお願い致します。

尚、11月21日(日)は休日当番で診療致します。

10月の感染症の集計



特に流行している感染症はありません。水痘も減少傾向で
す。季節の変わり目で、喘息のお子さんが目立っています。
発熱と咳がひどい気管支炎も多く見られました。

編集後記

災害の大きさを目の当たりにし
て、自然の恐さを思い知らされま
した。またイラクの人質殺害等、
最近は暗いニュースばかりです。
とにかく自分で身を守るというこ
とが、重要です。様々な被害に会
わないような、十分な対策や対応
を考えておきましょう。



東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「漢太のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに!!